

陝西省のスポーツについて



秦凱(22歳の陝西省出身)は、北京オリンピックで最も高い表彰台に上りました。田亮は、シドニーオリンピック10m高飛込競技で個人金メダル、アテネオリンピック10mシンクロナイズドダイビングで金メダルをとりました。二人で3大会連続してオリンピックで金メダルを獲得し、飛込競技は、陝西省の得意な種目となりました。

「金メダルペア」の張挺と田亮を招いて以来、陝西省の飛込競技は、輝かしい時代を迎えました。田亮は、2回のオリンピック大会で2つの金メダルと1つの銀メダルを獲得し、中国飛込競技界をリードする人物になりました。現在、秦凱は、田亮の後を継いで、陝西省飛込界の代表として、飛込競技で活躍を続けています。

口数の少ない秦凱は、子供時代から英雄になりたい夢を持っていました。彼の顔が兵馬俑に似ていると言われた時、生粋の西安人である秦凱はとても喜びました。彼の目には、どの兵馬俑もその一つ一つがそれぞれの夢を持っているように見えたからでした。14年にわたる努力と鍛錬の結果、秦凱は、スポーツ選手なら誰もが追い求める最高の夢を実現させました。この生粋の陝西省人が、オリンピックで最高の表彰台に立つことができたのです。

金メダルは戴冠式のようなものです。それは更なる高みへと誘います。秦凱の獲得した金メダルは、「内に招き、外に表す」という陝西省体育事業戦略の業績です。これは他のスポーツ種目においても「外から優秀なコーチ及び選手を招へいし——ひとつの競技を率いて動かし——陝西省からチャンピオンを輩出する」、という成功パターンのモデルとなりました。



射撃において北京オリンピック大会のライフル射撃金メダリスト**郭文瑤**は、西安交通大学に合格し、西安交通大学公衆管理学部に入りました。

郭文瑤は北京オリンピック大会の10mエアピストル競技で金メダルを獲得し、合わせてオリンピック記録を更新しました。

25歳の郭文琨は、2005年に陝西省射撃チームに選ばれ、翌年に中国射撃隊に選ばれました。2006年には、初めて出場した国際大会であるドーハ・アジア競技大会において、団体金メダルと個人銀メダルを取りました。2007年、2008年にはワールドカップで優勝しました。

郭文琨は、訓練漬けの生活をしていますが、毎日は単調でも練習は最大の楽しみだと話しています。彼女は、もうじき始まる大学生活について、「友達をたくさん作って、できるだけたくさんのことを学びたいと思います。」と、期待で胸をいっぱいにしています。郭文琨は、現在、第11回全中国スポーツ大会に向けて、調整しています。

陝西省スタジアム



陝西省スタジアムは、陝西省政府が、2.5億人民元を投資して建設した面積9.7万 m^2 の施設です。この建物全体は楕円型の鉄筋構造で、多機能大型の総合スタジアムです。敷地面積は48,864 m^2 です。スタジアムの主な施設は、①国際陸連標準の全天候型トラック ②サッカー国際マッチ適合ピッチ ③140 m^2 のカラー大型スクリーン ④芝生用オートスプリンクラー設備 ⑤オランダ PHILIPS 照明設備とアメリカ EV 音響設備 ⑥アメリカ産一流品種の寒冷地用芝生などがあります。陝西省スタジアムは、1999年第4回全中国都市運動会のメイン会場になって以来、全中国サッカー甲B及び甲Aリーグ西安チーム“陝西国力”の本拠地、中日サッカーの試合、中英サッカーの試合、「西安市シルクロード」の閉会式および、香港・台湾スターのコンサートなど多彩に開かれており、その設備は、国内でも一流とされています。

陝西省楊凌水上運動センター



シオン施設としても人気があるところです。

楊凌農業高新技術産業開発区の南端、渭河北岸に位置し、敷地面積が約104万 m^2 (そのうち水面の占める面積は約50万 m^2 、陸地の開発地面積は約60万 m^2)で、水面は広く、水質も優良で、極めて理想的な水上運動場です。

陝西省楊凌水上運動センターは、国際試合の可能な設計建築になっており、主なコースは、長さが2,250m、幅の平均が200m、9コースが設置されています。水面の面積が70万m²に近く、水深は5m以上あり、水源は天然地下水です。進水用埠頭4つと、浮き棧橋が1つあります。建物には、プレスセンター、VIPルーム、テレビ中継ルームなどがあり、電光掲示設備と写真判定の設備が完備し、国際試合の基準を満たしています。

1999年8月の竣工以来、第4回全中国都市運動会の競艇及びボートの試合、2000年全中国青年の選手権大会及びボートの大会、中韓競艇大会などの選手権大会及びボートの大会などが行われました。陸上の建築物にはオフィス、VIPルーム、宿泊棟、レストラン、プレスセンター、ボート係留設備、舟艇倉庫、ドック、ジム、シャワールーム、会議室などの設備があり、建築設備総面積は、14,739 m²です。5mの舗装道路が全ての設備を繋いでいます。湖を周回する道路には50m間隔で、高さ3.8mの照明灯があり、南岸の自然緑地は幅7m、長さ2kmあります。

(2010年1月現在)